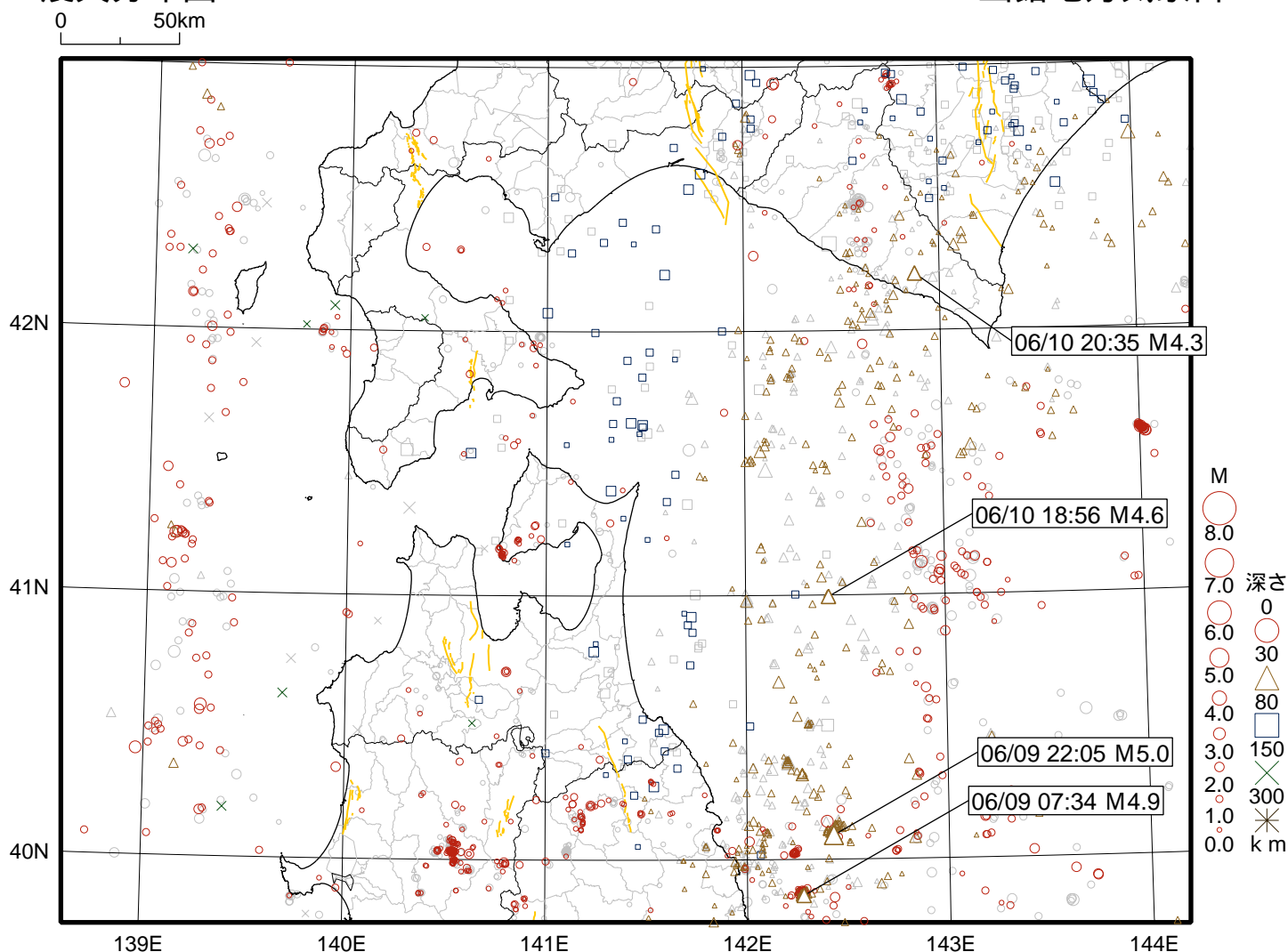


# 渡島・檜山地方の地震活動図

2021年6月1日～2021年6月30日

震央分布図

函館地方気象台



## 地震概況 (2021年6月)

この期間、渡島・檜山地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は6回(5月は8回)でした(詳細は「渡島・檜山地方で震度1以上を観測した地震の表」参照)。

9日22時05分、岩手県沖の地震(M5.0、深さ38km)により、函館市泊町で震度2を観測したほか、函館市新浜町で震度1を観測しました。

10日18時56分、青森県東方沖の地震(M4.6、深さ47km)により、函館市泊町、函館市新浜町で震度2を観測しました。

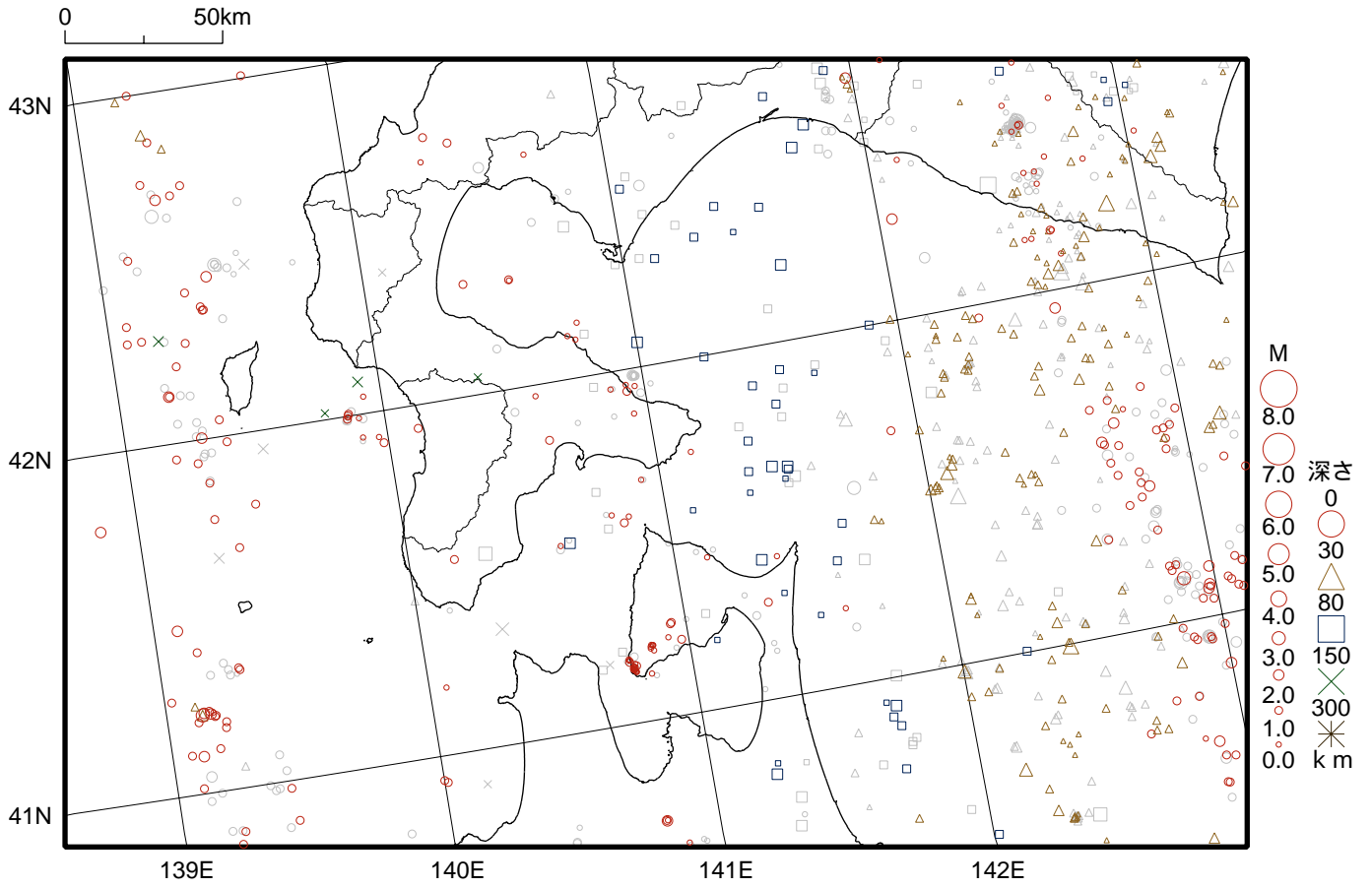
10日20時35分、日高地方東部の地震(M4.3、深さ73km)により、函館市泊町、函館市新浜町で震度2を観測したほか、函館市川汲町で震度1を観測しました。

20日20時08分、上川地方中部の地震(M5.4、深さ158km、震央分布図の範囲外)により、函館市新浜町で震度2を観測したほか、函館市泊町、函館市川汲町、森町で震度1を観測しました。

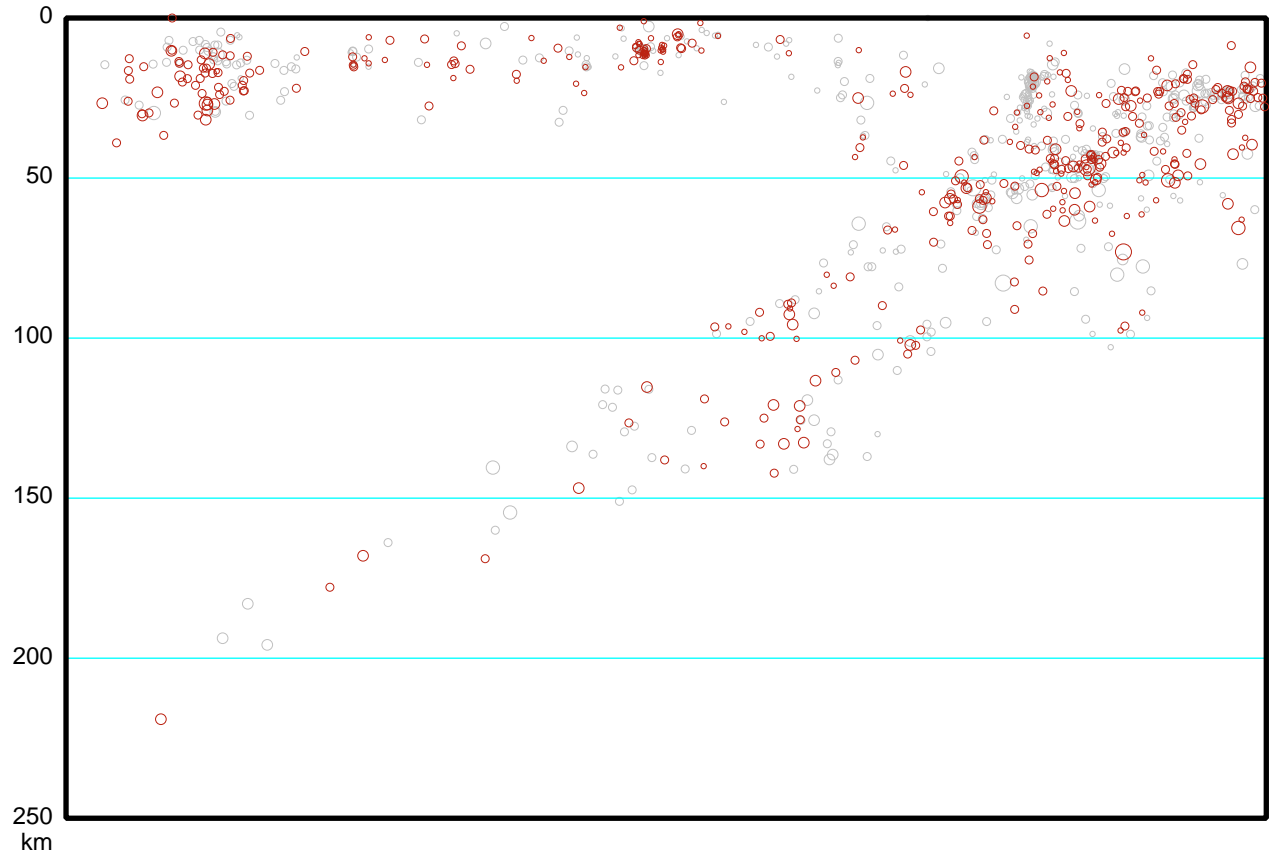
この活動図は、函館地方気象台のホームページ(<https://www.data.jma.go.jp/hakodate-c/>)に掲載しています。  
この資料に関する問い合わせ先 函館地方気象台 TEL 0138-46-2211

2021年6月1日 ~ 2021年6月30日

震央分布図



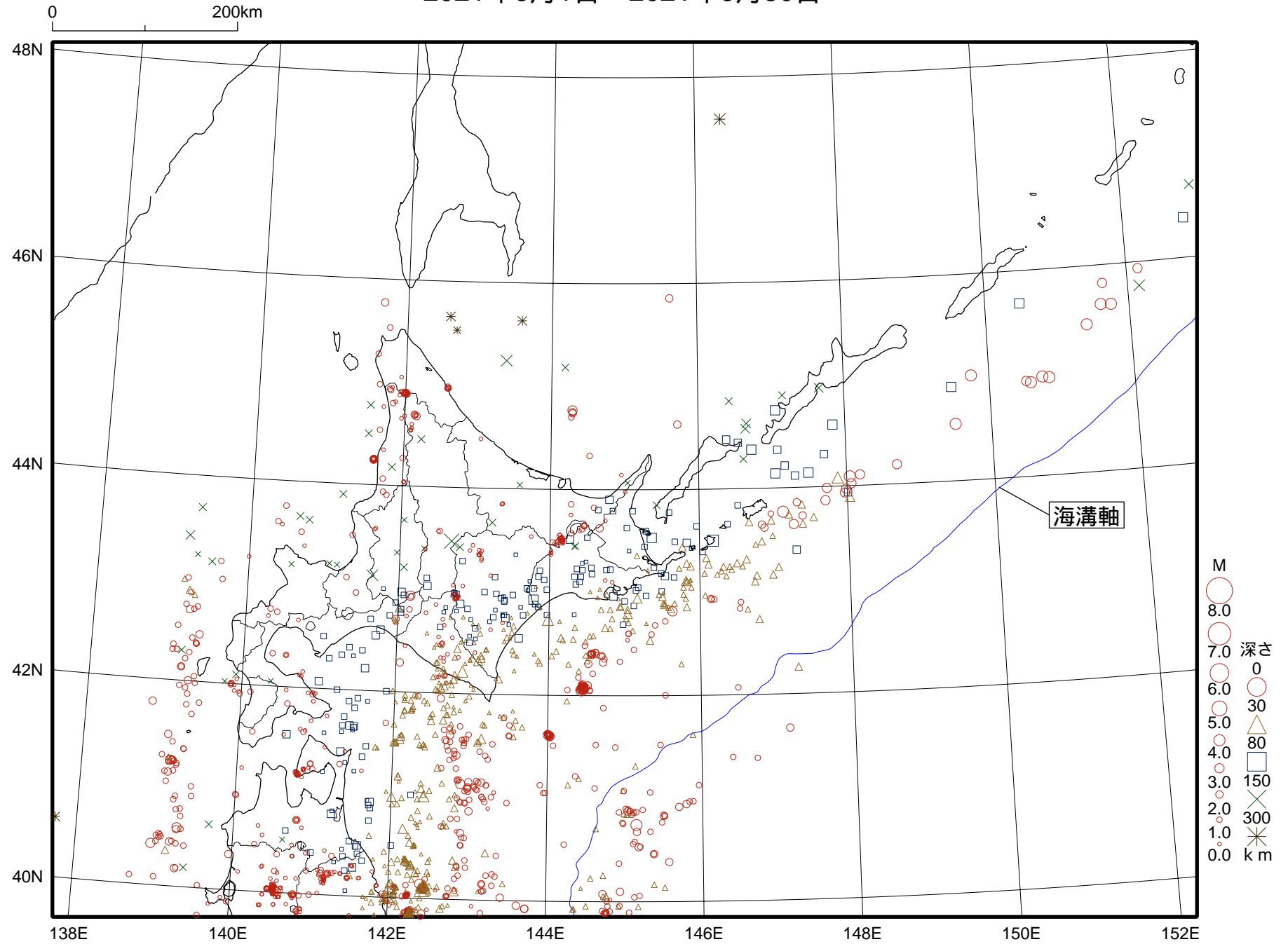
断面図



# 北海道の地震活動図

2021年6月1日 ~ 2021年6月30日

震央分布図



## 渡島・檜山地方で震度 1 以上を観測した地震の表 (2021年6月)

年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 ( N )	東経 ( E )	深さ ( k m )	規模 ( M )
2021年 6月 9日 渡島地方	07時34分 震度 1	岩手県沖 函館市泊町 * (07) 函館市新浜町 * (06)	39 ° 51.8 N	142 ° 16.7 E	33 k m	M4.9
2021年 6月 9日 渡島地方	22時05分 震度 2 震度 1	岩手県沖 函館市泊町 * (15) 函館市新浜町 * (12)	40 ° 05.4 N	142 ° 25.7 E	38 k m	M5.0
2021年 6月10日 渡島地方	18時56分 震度 2	青森県東方沖 函館市泊町 * (16) 函館市新浜町 * (17)	40 ° 59.6 N	142 ° 24.9 E	47 k m	M4.6
2021年 6月10日 渡島地方	20時35分 震度 2 震度 1	日高地方東部 函館市泊町 * (17) 函館市新浜町 * (15) 函館市川汲町 * (11)	42 ° 12.8 N	142 ° 52.4 E	73 k m	M4.3
2021年 6月13日 渡島地方	05時32分 震度 1	石狩地方中部 函館市新浜町 * (06)	43 ° 07.2 N	141 ° 38.6 E	166 k m	M4.2
2021年 6月20日 渡島地方	20時08分 震度 2 震度 1	上川地方中部 函館市新浜町 * (15) 函館市泊町 * (12) 函館市川汲町 * (08) 渡島森町上台町 * (05)	43 ° 28.6 N	142 ° 41.0 E	158 k m	M5.4

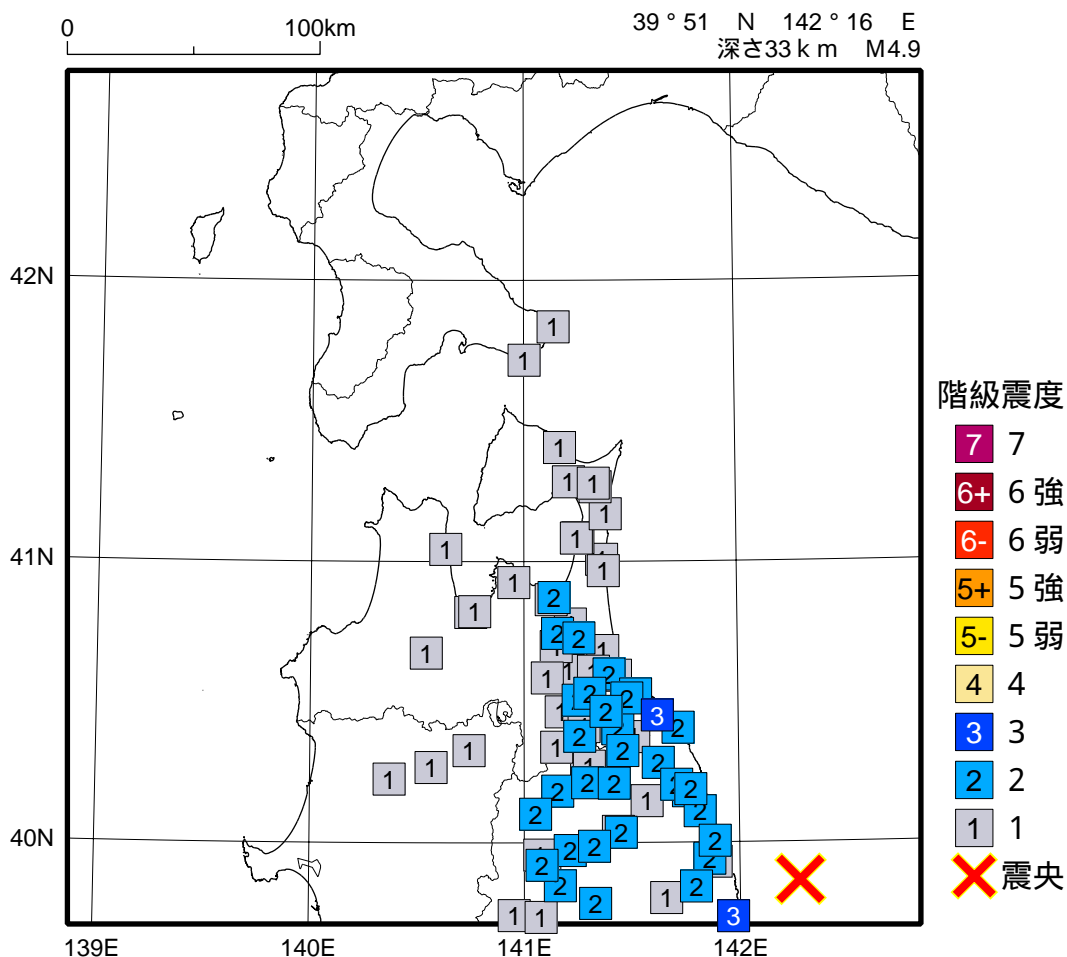
\* のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

( )内の数値は0.1単位の詳細な震度 (計測震度) の小数点を省略して表しています。

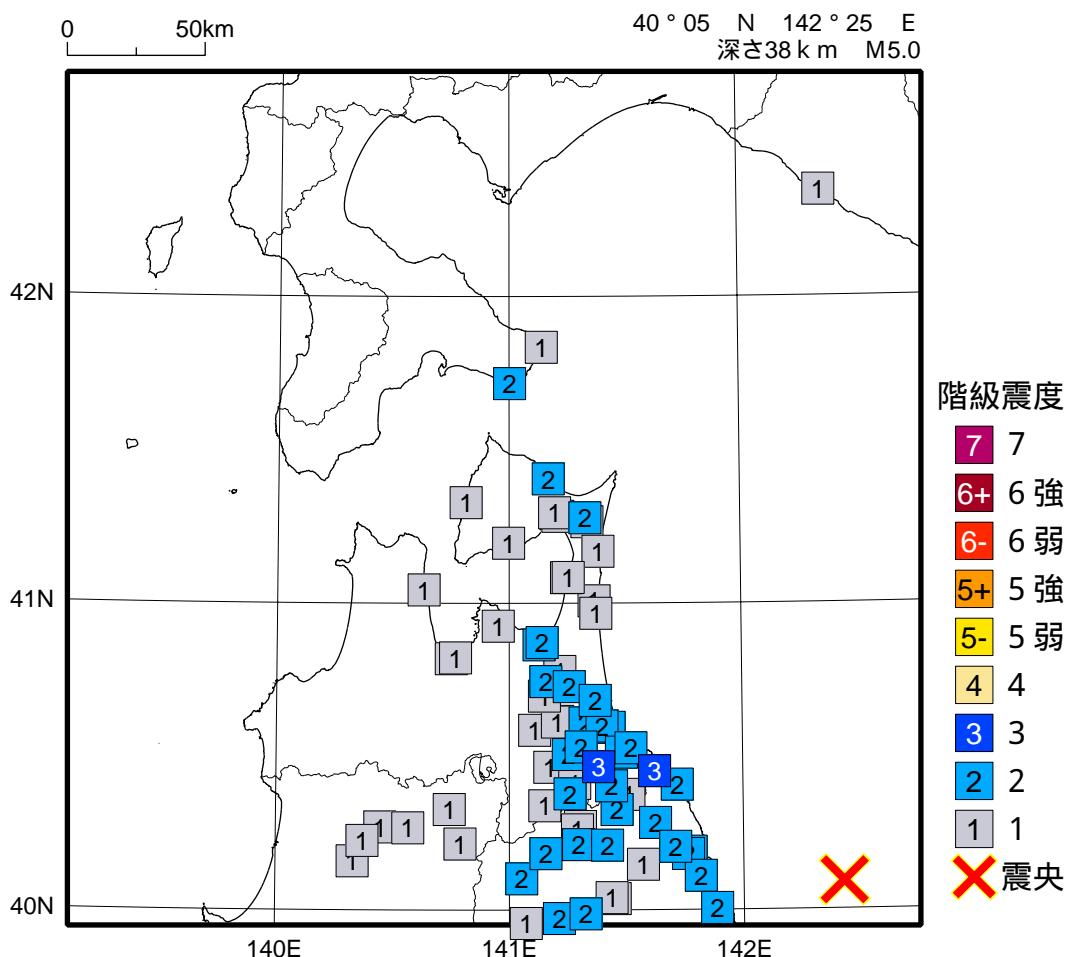
### 計測震度と震度階級の関係

計測震度	~ 0.4	0.5 ~ 1.4	1.5 ~ 2.4	2.5 ~ 3.4	3.5 ~ 4.4	4.5 ~ 4.9	5.0 ~ 5.4	5.5 ~ 5.9	6.0 ~ 6.4	6.5 ~
震度階級	0	1	2	3	4	5 弱	5 強	6 弱	6 強	7

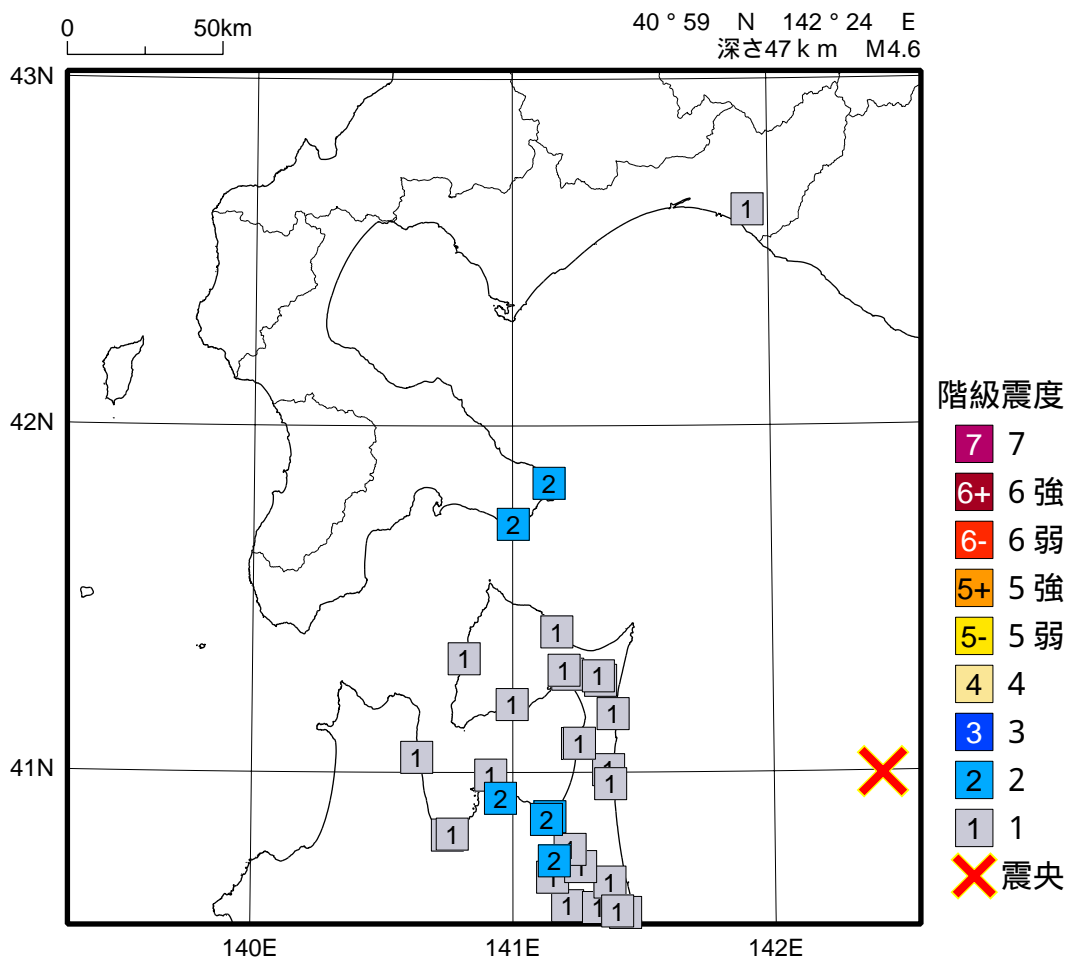
2021年 6月 9日07時34分 岩手県沖の地震の震度分布図



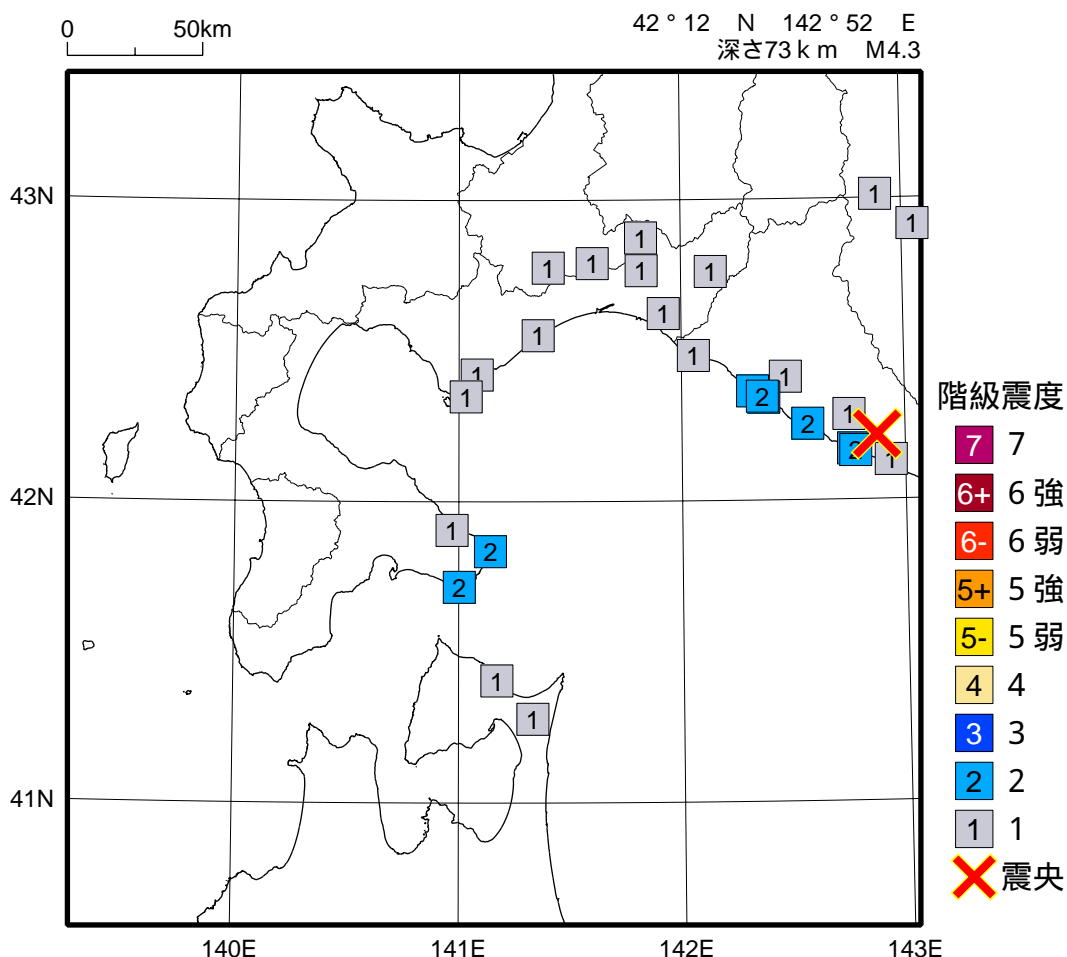
2021年 6月 9日22時05分 岩手県沖の地震の震度分布図



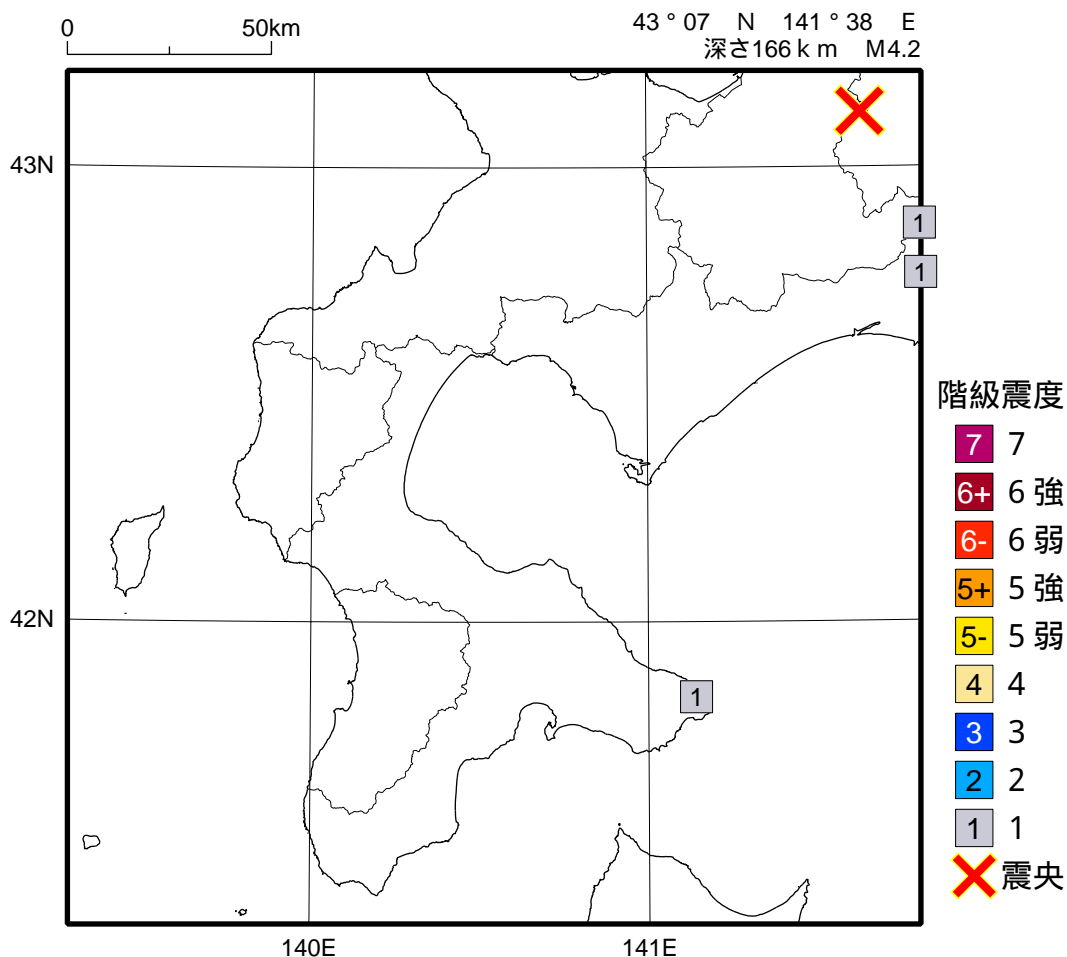
2021年 6月10日18時56分 青森県東方沖の地震の震度分布図



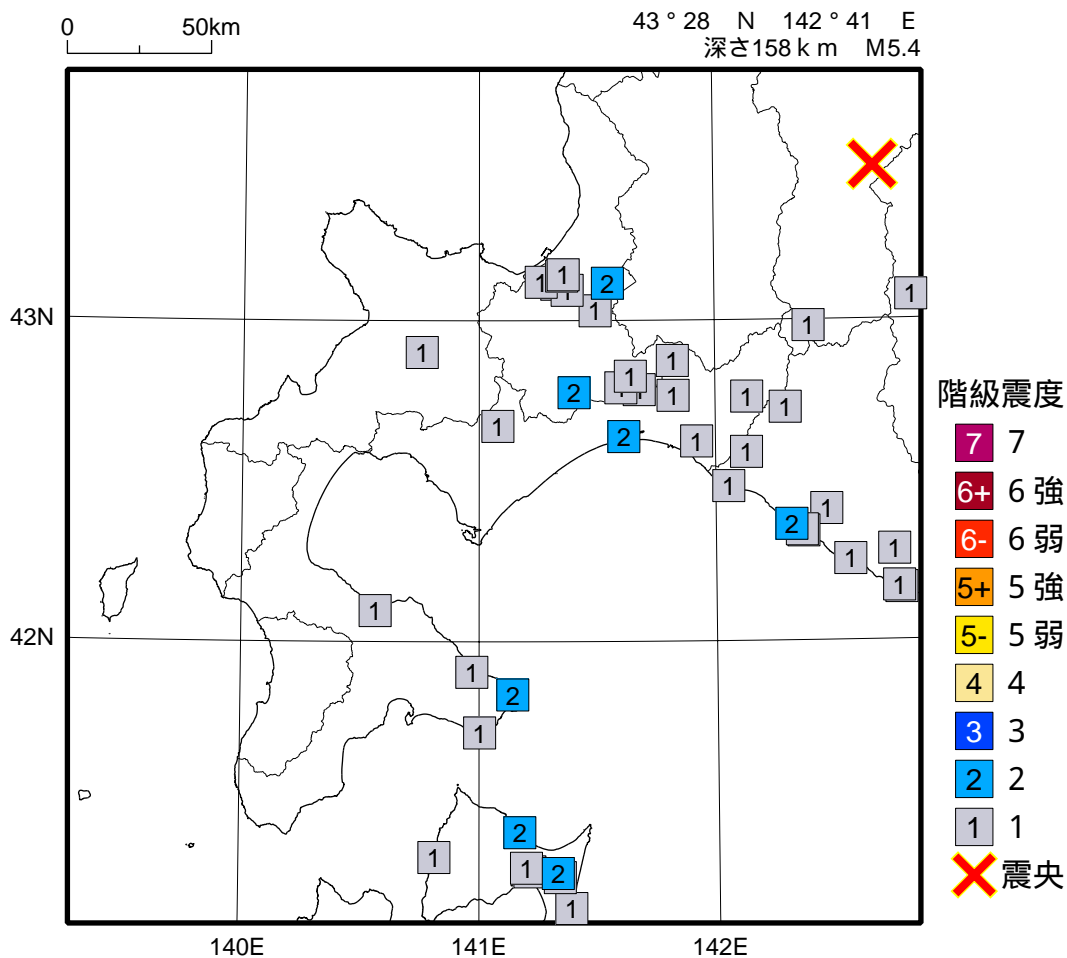
2021年 6月10日20時35分 日高地方東部の地震の震度分布図



2021年 6月13日05時32分 石狩地方中部の地震の震度分布図



2021年 6月20日20時08分 上川地方中部の地震の震度分布図



## 本資料の利用にあたって

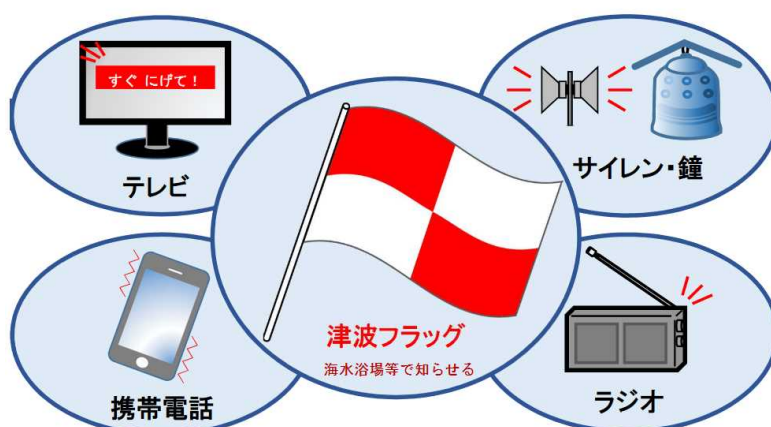
- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 次の期間の地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以外の期間と比較して微小な地震の震源決定数の変化が見られることがあります。  
2020年4月18日から10月23日まで、 2021年1月9日から3月7日まで、 2021年4月19日以降
- ・ 2020年9月以降の地震は、それ以前と比較して、処理方法の違い等により、震源の見かけ上の位置や震源決定数に変化が見られることがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。



## 【防災メモ】

### ～「津波フラッグ」による津波警報等の視覚的伝達～

津波警報等（大津波警報・津波警報・津波注意報）は、テレビやラジオ、サイレン・鐘、携帯電話等、様々な手段で伝達されますが、令和2年夏から「津波フラッグ」による伝達方法が加わりました。「津波フラッグ」は、聴覚障害がある方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表を視覚的にお知らせするものです。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難してください。



#### ●津波フラッグのデザイン

津波フラッグは、視認性や色覚の多様性を重視した上で外国人へも配慮し、海からの緊急避難を知らせる意味で海外でも用いられている「赤と白の格子模様」の旗としています。この旗は、国際信号旗の「貴船の進路に危険あり」を意味するU旗と同様のデザインです（国際信号旗は、単体ではアルファベットや数字などに対応しており、組み合わせで様々な意味になります）。

#### ●利用上の注意点

- 津波フラッグが用いられる場所は、海水浴やマリンスポーツなどを行う人がいる海水浴場等の海岸です。
- 掲示の方法は、砂浜や海水浴場の監視台等において監視員が振る、監視台や海岸沿いの施設に掲示するなど、その地域の実情に合った方法が用いられます。
- 津波フラッグによる伝達の仕組みは昨年始まったばかりで、まだ導入されていない地域も多いのが現状ですが、津波フラッグを目にした場合に素早く行動できるよう、正しく意味を理解しておきましょう。

#### ●参考 URL

- 津波フラッグの解説（気象庁ホームページ）：

[https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami\\_bosai/tsunami\\_bosai\\_p2.html](https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html)

- 津波フラッグの周知広報ビデオ（YouTube）：[https://www.youtube.com/watch?v=1\\_x7fyzRtKo](https://www.youtube.com/watch?v=1_x7fyzRtKo)